

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 29 年 1 月 19 日 (2017.1.19)

【公開番号】特開 2015-112872 (P2015-112872A)
 【公開日】平成 27 年 6 月 22 日 (2015.6.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-040
 【出願番号】特願 2014-152798 (P2014-152798)
 【国際特許分類】

B 3 2 B 5/28 (2006.01)

B 3 2 B 17/10 (2006.01)

E 0 4 B 1/94 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 5/28 Z

B 3 2 B 17/10

E 0 4 B 1/94 F

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 1 日 (2016.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のガラス繊維織物と、前記複数のガラス繊維織物に含浸された硬化樹脂組成物層とを含む透明不燃性シートであって、

前記硬化樹脂組成物層が、硬化性樹脂を含む樹脂組成物の硬化物により形成されており、

同一の硬化樹脂組成物層内に前記複数のガラス繊維織物が含まれており、かつ、当該硬化樹脂組成物層の少なくとも両表面側に、前記複数のガラス繊維織物のうち少なくとも 2 枚のガラス繊維織物が配されており、当該硬化樹脂組成物層の表面から前記ガラス繊維織物の中央部までの最短距離 L_1 と、硬化樹脂組成物層の厚み L_0 とが、以下の式 (I) の関係を充足するように、前記ガラス繊維織物が、硬化樹脂組成物層の両表面側にそれぞれ 1 枚ずつ含まれ、

$$0(\%) < L_1 / L_0 \times 100 < 20(\%) \quad (I)$$

前記透明不燃性シートにおいて、前記ガラス繊維織物と前記硬化樹脂組成物層との合計量中の前記ガラス繊維織物の合計割合が、20～50 質量%であり、

前記透明不燃性シートの全光線透過率が 80% 以上であり、

前記透明不燃性シートのヘーズが 30% 以下である、透明不燃性シート。

【請求項 2】

前記硬化性樹脂が、ビニルエステル樹脂、不飽和ポリエステル樹脂、及びフルオレンアクリレート樹脂からなる群から選択された少なくとも 1 種を含む、請求項 1 に記載の透明不燃性シート。

【請求項 3】

前記樹脂組成物が、40～80 質量%の前記硬化性樹脂を含む、請求項 1 または 2 に記載の透明不燃性シート。

【請求項 4】

前記樹脂組成物が、スチレンモノマーを含む、請求項 1～3 のいずれか 2 に記載の透明

不燃性シート。

【請求項 5】

前記樹脂組成物が、60～80質量%の前記硬化性樹脂と、10～40質量%の前記スチレンモノマーとを含む、請求項4に記載の透明不燃性シート。

【請求項 6】

前記樹脂組成物が、光硬化性である、請求項1～5のいずれかに記載の透明不燃性シート。

【請求項 7】

前記硬化樹脂組成物層の上にフィルム層をさらに有する、請求項1～6のいずれかに記載の透明不燃性シート。

【請求項 8】

前記硬化樹脂組成物層と前記フィルム層との間に、ガラス繊維網体からなる網体層をさらに有する、請求項7に記載の透明不燃性シート。

【請求項 9】

厚みが40～400 μm である、請求項1～8のいずれかに記載の透明不燃性シート。

【請求項 10】

請求項1～9のいずれかに記載の透明不燃性シートを備える防煙垂壁。

【請求項 11】

請求項1～9のいずれかに記載の透明不燃性シートを備える防煙シャッター。

【請求項 12】

請求項1～9のいずれかに記載の透明不燃性シートを備える間仕切壁。

【請求項 13】

請求項1～9のいずれかに記載の透明不燃性シートを備える防煙カーテン。

【請求項 14】

請求項1～9のいずれかに記載の透明不燃性シートを備えるタッチパネル。